

和歌山大学（災害科学レジリエンス共創センター）防災シンポジウム

「能登半島地震から南紀熊野で発生する南海トラフ地震を考える

—ジオパークガイドとして地域の悲しみを伝えることができるか—

## 1. 趣旨

和歌山大学は南紀熊野ジオパークを今まで研究や教育において支援してきました。この度2月18日に和歌山大学、和歌山県および南紀熊野ジオパーク推進協議会との間で「南紀熊野ジオパーク活動に関する連携協定」を締結しました。それを記念して和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターでは、南紀熊野地域における地域課題でもあります南海トラフ地震について考えます。

特に昨年に発生した能登半島地震は同じ半島で起きた地震であり、過疎地の地震でもあります。そこで将来の被災地になるかもしれない南紀熊野において、どんな教訓を汲み取れるでしょうか。今回はダークツーリズムという視点において能登半島地震の被災地を考えてみます。災害遺構や被災者の悲しみを伝えるために研究されている金沢大学の井出先生に基調講演をいただき、これからの能登半島への見学へ行かれる方も考えてもらうようにするシンポになっています。ジオパークガイドとしても南紀熊野ジオパークの中にある悲しみのあるジオサイトでの伝え方についても考えます。

## 2. 主催

和歌山大学 災害科学レジリエンス共創センター

協力 南紀熊野ジオパーク推進協議会

和歌山地方気象台（パネルを借用して展示：南海トラフ地震 臨時情報関係）

## 3. 対象

一般住民 ジオパークガイド

## 4. 日時及び会場

日 時 令和7年（2025年）3月20日（木：祝日）

13時 受付 13時30分開会 16時30分 閉会

会 場 南紀熊野ジオパークセンター

和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 2838-3（潮岬観光タワー西隣）

## 5. 内容

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 開会・挨拶

13:35～14:05 講演1 (30分)

演題 能登半島地震から南海トラフ地震を考える

此松昌彦 和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター 兼務教授

14:05～14:35 講演2 (30分)

演題 「能登半島地震の被災支援」から得た知見による南海トラフ地震への備え

野口和典 和歌山県危機管理部災害対策課 課長補佐

14:35～15:25 講演3 (50分)

演題 能登半島地震におけるダークツーリズムの可能性

井出 明 金沢大学 国際基幹教育院 教授

15:25～15:35 休憩

15:35～16:25 パネルディスカッション

災害遺構などのジオサイトを人々に伝えるには

パネリスト

井出 明 金沢大学 教授

野口和典 和歌山県危機管理部 課長補佐

仲江孝丸 南紀熊野ジオパークガイドの会：会長

コーディネーター

此松昌彦 和歌山大学 教授

16:25～16:30 閉会

シンポジウム中に研究成果のパネル展示、デモ展示を行う。

## 6. 定員

60名程度（先着順）

## 7. 申込

申込方法 ネット申込 グーグルフォームを利用する

<https://forms.office.com/r/Ers8DU07ec>

申込期限 令和7年3月17日（月）

